

病院における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10~11	1人で軽介助の患者のオムツ病衣交換後ベッド上で体勢を整えようと、患者を移動した際に、腰部・右股関節に痛みがあり、その後に痛みが増強し、歩行困難となった。	35	300~499
1	10~11	手術後の患者をストレッチャーに移乗する際、腰を痛めた。	30	
1	10~11	病室で患者を車椅子からベットへ移動しようとして、両脇を抱え立ち上がり、体の向きを変える一連の動作でタイミングがずれ自分の体で支えていた患者の頭が左脇を圧迫し、左肋骨を骨折した。	56	100~299
1	10~11	下駄箱前で靴を履きかえた後、立ち上がる際にバランスを崩して左側に転倒し、左大腿部のあたりを強打した。その後、疼痛があり、左大腿骨頸部骨折と診断された。	61	300~499
1	16~17	利用者の送迎中、利用者自宅前の道で両手引き介助を行っていた時、利用者が5cm程の段差でバランスをくずし転倒しそうになったため、支えるため引っ張り上げる動作を行ったとき、両上肢と腰に負担がかかった。	38	100~299
1	9~10	患者が入浴後病室に戻ってきた際、ストレッチャーからベッドに移動させようと、本人はストレッチャー側、患者はベッド側に立っていた。患者が大柄の男性だった為、ストレッチャーから患者を送り出す時に体勢が崩れ、右足腓腹筋を痛めてしまった。	49	300~499
2	15~16	地下浴室入口で入浴者様を運んでいたが、浴室入口が狭く少しスロープがあり、ストレッチャーの出入りが困難な為、ストレッチャーの移動の際、無理な姿勢となり、上半身をひねった。	55	100~299

2	14~15	病棟の浴場更衣室で、入浴を終えた患者に靴を履かせる作業中に背中（右肩甲骨下から右脇腹にかけて）を痛めた。作業時、患者は車イスに座り、鏡のある壁に向かった状態で、患者の右側から左足（自分から奥側）の靴を履かせていた。中腰の状態で作業をしている間、背中に違和感があり、一度背中を伸ばそうと立ち上がった際に激痛があった。翌日、学会出張のため移動したが、痛みが増したため、出張先にて受診した。	42	300 ~ 499
2	11~12	派遣先で、患者様の体勢がベッドの下方へ崩れていたため、身体の下にバスタオルを敷いて向きを直し整える際、自分側に患者様の身体を引っ張り直すのに身体の大きい患者様だったため力を入れ過ぎて肘を痛めた。	56	30~ 49
2	11~12	病棟5号室に於いて、患者の体位を整えるため、ギャッジダウンしベッドの高さを変え、患者の左側より腰部と背部を支える様に前傾姿勢で両上肢を差し込んだ際、全介助であったため患者の体重が一気に腰部へかかり、スペースが狭く体勢を変更出来ないまま移動を行ったため受傷してしまった。	37	500 ~ 999
2	2~3	夜勤中、患者の部屋（個室）へ訪室すると、夜間せん妄により帰宅したいと強い訴えがあり、説得するも拒否あり。他スタッフへ救援要請中に患者が急に部屋から出ようとしたため、止めようとした際、首を絞められたり壁に体を強く押しつけられたりした。	25	1000 ~ 9999
2	9~10	患者をベッド上に移動中に骨折した。	66	100 ~ 299
2	13~14	患者様の搬送を行っているその積み重ねで炎症が起こり痛みが有る様になった。一人の患者様に対してベッドから移動用ベッド、その後スケールベッドへ、その後透析室ベッドへと3回（1日）移動を行う。この行動を最高12人程（1日）行う。	43	300 ~ 499
2	16~17	詰所内で、パソコンに向かい作業をしようとした椅子に他の職員が座ってしまい、本人はそのまま後方に転倒し、尾てい骨周囲を打撲した。	43	500 ~ 999
		病室にて患者様の体交時に、左側を向いている患者様を上方向に向ける際に患者		

3	18~19	様の両肩の下に自身の手を入れ、向きを変える瞬間に肩にパチンという音と痛みを同時に感じた。	62	30~ 49
3	18~19	2F病棟で夜勤時、夕食が終わった患者を部屋に送りデイルームを通りかかったとき、水中毒の患者がコップで水を飲もうとしていた。水中毒だと頭にあったため、止めようとコップを取りに走ったところ、右手と右足が同時に出てしまい変な体勢になり腰を痛めた。後日に腰痛があり、思うように動けなくなった。	46	100 ~ 299
3	7~8	食事の準備の為、1人で全介助の男性の体勢を整えていたところ、男性が体に力を入れたため、腰に負担がかかりピキッと音がし、腰部に強い痛みを感じた。	45	100 ~ 299
3	15~16	当病院内において、ベッド上で自力体勢できない患者のオムツ交換後、身体がベッドの下方にずれていたため肩と腰に手を当て上方にずらそうとした時に、腰に痛みを感じ歩行困難な状態となった。	54	100 ~ 299
3	11~12	昼食時に、全く動けない患者さんの食事介助のため、起こした時に左肩に痛みがありギクッとした感じがあった。当日は痛みも少なかったが、翌朝起きた時には左肩の痛みと左手を挙げたり、回したりすることが出来ない状態となっていた。	68	100 ~ 299
3	19~20	B3病棟食堂で看護夜勤勤務中、精神症状を有する入院患者が水を多飲しているところを他の看護師が注意し、コップを預けるようにうながしていた。その時その入院患者が興奮し看護師に暴力をふるったため、背後から制止を試みたところ、患者の動きが大きくて患者と共に転倒し、腰部を捻った。	36	300 ~ 499
3	10~11	当病院1F浴室において入浴介護中、リクライニング車イスから機械浴のベッドに移す時（2人で行っていた）、患者（体重62.4kg）の腰を持って移動した際に腰部に激痛が発症した。	17	100 ~ 299
3	2~3	救急外来で夜勤中、救急患者が多く当日は休憩もとれない状況であった。午後より記録整理のため、処置室のパソコンを使用し、椅子に座っていた一瞬意識が遠のき、ふらついたため椅子から転倒し、左上腕肘から肩にかけて強度の打撲を負った。	58	1000 ~ 9999
		夜勤中、病棟入院中の患者さんのオムツ交換及び体位変換を行っていた途中、左		100

3	4~5	小指に痛みを覚えたが自制内であったが、次第に左小指の痛みと腫れが生じ、曲げる事もできなくなった。	54	~ 299
3	9~10	7階病棟病室において、ベッドの布団及びシーツを整える作業（環境整備）をしていた。ベッドの脚側付近より手を伸ばし、中腰の姿勢でシーツを持とうと前傾姿勢になったところ、右側腰部に激痛を感じた。被災後は痛み止めを服用し、湿布貼付で様子を見たが改善されず、救急搬送された。	53	300 ~ 499
4	10~ 11	当病院にて車イスで患者移送中に、病棟廊下にて左足を捻った。	27	50~ 99
4	11~ 12	入院中の高齢女性患者の身体の位置がベッド足元側にずれていた為、1人介助で左手を足の所に右手で腰部を支え、枕の上へ戻そうと上方向に移動した時、左肩から左上肢に激痛がおこった。そのあと激痛が持続し、夜間眠れないほどの痛みだった。	49	300 ~ 499
4	14~ 15	病棟内通路にて、歩行困難な入院患者を誘導している際に無理な体勢となり、以前より痛みのあった右足に歩行困難な程の痛みが生じた。	52	50~ 99
4	9~ 10	入浴介助作業のため、患者さんを車椅子から入浴用車椅子に移動してもらう際、患者さんの身体をささえて、自分の身体を左から右に捻った時に腹部の筋肉全体に痛みがあり、その後、痛みがひどくなった。	73	300 ~ 499
4	10~ 11	病室で患者さんをベットから車椅子に移動しようと2人で抱えて移動しようとした所、負荷がかかり、バランスを崩し左足を捻った。痛みはあったが仕事を続けていたところ、痛みと腫脹が生じた。	58	500 ~ 999
4	13~ 14	患者を車イスからベッドへ介助して移乗させた時、腰痛が出現した。	65	100 ~ 299
4	14~ 15	ウェラー浴室内で患者にリハビリパンツとズボンの更衣援助中、右側頭部を叩かれた。自分以外にスタッフは2人援助に入っていたが、瞬時の動きで防御する事ができなかった。認知症があり入浴前から不穏状態で、攻撃的な発言やスタッフへの暴力行動がみられていた。	30	500 ~ 999

5	15～ 16	病室で転落防止のために床敷きしているマットレスに寝ている患者様を、2人1組で持ち上げて車イスに移乗させようとして、患者様の上半身を背中側から抱きかかえ車椅子に乗せようとした時、腰を捻ってしまい痛みが走った。	51	100 ～ 299
5	14～ 15	リフレッシュ研修会で、スポーツ大会でドッジボールに参加中2回転倒し足を2回捻って負傷した。	22	500 ～ 999
5	10～ 11	D病棟2階介助者用トイレにおいて、患者様の排泄終了後、トイレから車イスへの移動の際、患者様の前に立ちトイレから立ち上がる介助をした。介助をした際に腰に痛みが発生し、腰痛と左下肢のしびれが出現し立っていることが出来なくなってしまった。	42	300 ～ 499
5	3～4	夜勤勤務中、入院中の患者を大部屋から個室へ移動させDVDを再生する準備をしていたところ、患者に後から両手で首を絞められた。振り解いた後も患者に髪の毛を引っ張られた。夜勤勤務中であったため、看護師の人数も少なく、災害発生時は患者と被災労働者のみであった。	23	300 ～ 499
5	15～ 16	病院3階手術室の休憩室において、モップで床掃除をしている時に右足がもつれ、後ろ向きに転倒し、後頭部を戸棚にぶつけた。立ち上がろうとしたが、痛みで歩行できなかった。	29	100 ～ 299
5	14～ 15	当院1C病棟デイルーム内にて巡視中、入院患者のトイレの介助をしていた准看護師から、トイレトーパーを取りに行ってもらいたいと依頼され、歩行の通行方向を看護師詰所の方に約90度転回しようとしたところ、バランスを崩して転倒し、右膝蓋骨部を床で強打した。	61	100 ～ 299
5	9～ 10	入院中の患者様（全介助必要）に対してリハビリを実施する為に訪室した際、起き上がり介助をしたときに右手首を捻った。	34	500 ～ 999
5	5～6	病院3階のスタッフステーションでデスクワークをしていて、休憩をとろうと椅子から立ち上がり右足を1歩踏み出した時、右足に力が入らず右足裏が内側を向いた状態で体重がのり、そのまま座り込んだ。その後も右足に体重をかけると痛みがあった。	39	100 ～ 299

5	12～ 13	南2病棟食堂で与薬していたところ突然、患者が職員の右頬を殴打した。しばらく様子を見ていたが腫れと痛みが治まらなかった。	41	100 ～ 299
5	15～ 16	車椅子に座っている患者（認知症、体動著名）の散髪をする際に、動くのを押さえるため両手で頭を挟んでいたとき、患者が急に動いた時に自分の手指からポキッと異音がした。関節が鳴ったのだろうと様子を見ていたが、徐々に親指の付け根が腫れて始め痛みだした。	52	100 ～ 299
5	22～ 23	入眠中から覚醒し、自室より這って廊下に出て来た患者様を他患者の妨げにならないよう病室へ移動させる際、一人で抱えた時に腰痛が発生し、徐々に痛みが増してきた。勤務後に1階通用口を出て更衣室へ向かう坂道を1歩踏み出した時に腰痛があり、坂をのぼっていると腰部に激痛がきて歩行困難となり倒れ込んでしまった。	31	100 ～ 299
5	18～ 19	病室で、食後患者様を車椅子からベッドへ移動する際に腰を痛める。	34	300 ～ 499
6	16～ 17	病室にて患者のオムツ交換中、体交まくらを背中に入れる時、右小指第1関節を曲げたまま体重をかけ、体交まくらを入れてしまった。その結果、指が曲がったまま戻らない状態になってしまった。	39	100 ～ 299
6	8～9	自閉症で入院されている患者さんが、看護師が朝食後の薬を配布中に、突然暴力的になり、看護師の首を殴ってきた。当日は痛みもなく帰宅したが、後日、首が痛くて動かせなくなった。	36	100 ～ 299
6	10～ 11	朝のケアが一段落し、オムツ車置き場で片付けをしている時、ナースコールが鳴り、対応しに行く際、振り向いて歩き出した瞬間、左足からグキッと音がし、時間が経つにつれて痛み出してきたものの、我慢出来る痛さであったため、様子を見ていた。その後、痛さが治まらず受診に至った。	45	300 ～ 499
6	11～ 12	病室で患者を風呂場へ移送するため、ベッドからストレッチャーへ持ち上げ移動した時、腰に負担がかかってしまった。	43	300 ～

				499
6	10～ 11	患者退院のため移送しようと、ベットからストレッチャーに移しかえている時、体を捻った状態で、片足に体重がかかり、ボキッと音がして左膝に痛みが出た。	67	100 ～ 299
6	9～ 10	男子開放病棟2階トイレを掃除中、モップ絞り器に水を入れようとして、腰を屈めた時に激痛がはしった。	61	100 ～ 299
6	8～9	病院ロッカーで更衣中、後ろを通る人がいたため避けたところ、腰に痛みが発生し動けなくなった。	43	100 ～ 299
6	9～ 10	入浴介助中、浴槽より患者を1人で抱え上げようとした時、腰がグキッと痛みが出現した。	54	100 ～ 299
6	11～ 12	病棟内の風呂場脱衣所で、患者をシャワー椅子から車椅子へ移乗させる時、患者の体を前から腰を抱えて持ち上げようとしたがバランスを崩し、踏ん張った時に胸から腰にかけて痛みがはしった。筋肉痛と思えばしばらく様子を見ていたが、痛みがひかず、骨折と診断された。	52	100 ～ 299
6	16～ 17	病室にてオムツ交換時に、腰に違和感を感じたがそのまま作業を続け、物品洗浄中に腰に激痛がはしり、同時に左足の痺れも感じた。	48	100 ～ 299
6	11～ 12	患者様の昼食の為、ベッドから車椅子への移乗介助を一人で行った。立位保持が出来ない患者様のため抱きかかえるようにして立位保持し、車椅子へ患者様を移動させる際、介護者が腰を半転し、腰痛になった。	20	50～ 99
6	19～ 20	当院南2A病棟において、看護師2名で100kg以上ある患者の体位変換（ベッド上方への移動）を行った。その際に、腰の右側から右膝にかけて痛みがはしり、動けなくなった。	27	1000 ～ 9999
		浴室内で車椅子の患者様を椅子に移動する時、患者様の正面に立ち両脇に手を入		100

7	10~11	れ立ち上がらせ、右側の椅子に移動しようと体を右に向けた瞬間、腰に痛みが走ったが、患者様を椅子に座らせた。その後、その場で痛みが酷くなり歩く事が困難になった。	47	~ 299
7	17~18	当院内にて、暴れる患者を拘束・移送の際、右膝を蹴られ受傷した。移送の時に腰痛、右大腿後面のしびれ、右手首に痛みを生じ、様子を見ていたが症状が改善しなかった。	54	50~ 99
7	11~12	入院患者の入浴終了後、病室に戻りストレッチャーからベッドに患者を移すために持ち上げたところ、両手親指に痛みが走り負傷した。治療を受けていたが、この度、手術により休業となった。	50	~ 299
7	18~19	病院内1階厨房の配膳車プールから脇の自動扉廊下において40人分の夕食を入れた配膳車（1,880×780×1,770cm製品質量313kg）を廊下に移動作業中後ろ向きで引っ張ったところ、動かなかったので、再度力を入れて、約1m進んだ時、左足膝裏に強い衝撃と痛みを感じ、左足半月板を損傷した。	61	~ 500 999
7	14~15	病室にて患者様の痰を吸引していた。気管内より痰を取るために肩枕を入れようと左側より左手を背中に差し込み体を持ち上げようと力を入れた時、右腰にビリッと痛みが走った。腰の痛みが続き毎日湿布を貼用し痛み止めを飲み仕事を続けていたが徐々に背中に張り痛みが広がり足のしびれが出現した。	61	~ 300 499
7	11~12	病棟内で患者のトイレ介助中、腰に痛みを感じた。その後、様子をみながら業務をした。翌日、病棟内でおやつ前の体操の時、再度、腰に強い痛みと足に痺れを感じ普段の様に動けなくなった。	53	~ 100 299
7	16~17	利用者さんを自宅まで送り、利用者さん宅前で、病院へ戻るため車に乗ろうと左足を上げ、体をひねった際に右足の半月板に痛みを感じた。	68	~ 100 299
7	7~8	入院患者病室で、全介助状態の患者のオムツを交換する時に、中腰の姿勢で患者の体の向きを変えたところ、腰部に負荷がかかり受傷した。	47	~ 300 499
		病室のトイレで患者さんのトイレ移乗の際、患者さんの病状により、腰が曲がっ		

7	3~4	て身体に力が入らないのを、無理な姿勢で支えようとした際に、腰に痛みを感じた。3人で移乗したいが、ご家族からの要望で、病室のトイレを指定されるため、（3名は入れないため）2名で行い、身体を支える場所の指定などがあり、起きてしまった事故。	63	~ 499	300
7	10~11	病棟の隔離室にて、床の布団から患者さんを二人で介助し、車椅子に移乗する際、下半身を持ち上げたところ、腰に激痛がはしり、歩行するのが困難になる。今まで腰痛になった事はない。	28	~ 299	100
7	10~11	病室にてリハビリ訓練のため患者を車イスに移乗しようとした時、腰でゴリと音がして激痛が走り、全く動けなくなった。	55	~ 299	100
7	16~17	病院のSK室（汚物を処理する部屋）前でオムツを補充しようと急いで向かったところ、SK室左横のトイレの前で右足の第5趾が下になる形でねじり、骨折した。	21	~ 299	100
7	15~16	病棟内の浴室で、機械浴の入浴介助を2人で行っていた。左麻痺のある患者（体重51kg）を車椅子から機械浴の台に移乗している時、主介助者の力が足りず、臀部が下がり気味になった。そのため、患者の後ろから抱え上げようとしたところ、腰部に強い痛みが発生した。	43	~ 999	500
7	9~10	病室にて入院患者様の便汚染の後の寝衣交換を2人で施行した。その後、患者様の身体を2人で上方に引き上げようと下肢に力を入れた際、ブチッとするような感覚があり、左下腿部に激痛が起きた。しばらく業務を続けたが疼痛は軽減しなかった。	44	~ 299	100
7	16~17	病室にて入院患者のオムツを交換中、入院患者に左手をつかまれ、親指と小指を強くひねられ負傷した。	31	~ 299	100
7	16~17	体育館にて、体育大会のバレーボールの試合中、スパイクを打つためジャンプし、着地した際に左膝を負傷した。	30	~ 9999	1000

7	11～ 12	当院病室において、上司からの指示で新規入職の職員に業務の説明・指導をしていた最中、病室内に同僚が入ってきて清掃業務にあたるよう言われた。行うべき業務を上司に再確認しようと廊下に出たところ、突然、同僚に左肩あたりを強くたたかれ、その勢いで背後にあった荷物に左腕を強くぶつけ負傷した。	59	300 ～ 499
7	12～ 13	分娩室で、分娩のため産婦を分娩台に乗せ、分娩体位をとっている際、産婦の左側に立ち、分娩間接介助のため、外回り援助の作業中、陣痛発作が発来した。突然、産婦に左手首を強く握られ、思い切り外側へ捻じられた。そのまま発作が治まるまで放してもらえなかった。	58	50～ 99
7	7～8	病院勤務において、入院患者を車椅子に移乗介助中、患者を抱きかかえて向きを変えようとしたときにバランスを崩し、右下肢を負傷した	64	50～ 99
7	12～ 13	病室にて患者のオムツ交換を1人で行っていた際、患者を右側臥位にしようと思ったが患者の体位が安定しなかったため、右手で患者の背中を押しながら、左手で病衣のズボンを下げようとしたときに腰に激痛がはしり、一時オムツ交換を中止した。他のスタッフに声をかけ2人でオムツ交換を行い、その後も激痛は続いたが、その後、入浴介助の当番だったので仕事を続けた。入浴日はどのスタッフも忙しく自分が痛いと言えない状態で、仕事終了時間まで勤務したが、家に帰っても激痛が続いたため翌日に受診した。	38	100 ～ 299
7	19～ 20	2階東病棟病室にて、患者をポータブルトイレからベッドに移乗介助した際に、患者の力が抜けて倒れそうになったのを支えたため、移乗介助後に腰痛となった。	26	500 ～ 999
7	5～6	4階病棟のナースステーションで、足を組んで椅子に座っていた。巡視のために椅子から立ち上ろうとしたとき、足の感覚が無く、バランスを崩して転倒した。その際に右足を強く捻り、痛みと腫れがあったため受診した。	35	100 ～ 299
7	16～ 17	隔離室を巡視中、患者が水分を要求したため隔離室のドアを開け、コップを渡そうとしたところ引き倒され、頭部を床に叩きつけられたり、顔を引っかかるなどした。病院を受診したところ、頭部打撲の診断を受けた。	31	300 ～ 499
7	11～	当院階段の踊り場にて、2階ナースステーションに物品（タクシーチケット等）を返しに向かっている際、方向転換したときに腰に痛みがはしり、ナースステー	42	30～

	12	シヨンに着いた頃には動けなくなってしまった。		49
7	11～ 12	ヘルプに向かった外来処置室での処置看護中、ベッド上から寝たきり状態の体重の重い患者を2人で車椅子に移乗させていた。寝たきり患者の離床および移乗には、理学療法（医療者）によると5名で対処すると書かれているが、2人で移乗を行なったためかなりの負担がかかり、有害な状態であった。離床途中で腰の痛みが発生したが、仕事を抜けられる状態ではなかったため、無理して業務を続けていたところ、歩行困難に陥った。	48	50～ 99
9	11～ 12	上記日時に、当病院2階観察室において入院中の患者様をベットに横たえさせるため、患者様の両足を中腰状態で両手で持ち上げている最中、力が入りすぎたためか左脚ふくらはぎに強い痛みを感じ病院にて受診したところ、左脚腓腹筋筋膜炎と診断されたものである。	39	100 ～ 299
9	17～ 18	病室にて不穏患者対応中に主治医より胴・両上肢拘束指示あり、準備の際に屈んで拘束準備をしていたところ突然患者が顔面を足蹴りした、鼻骨を骨折及び切創。	46	500 ～ 999
9	20～ 21	当法人に於いて、患者の身体がベット下方へずり落ちていた為、ベット横に斜め30度ぐらいに立ち、脚を開いて中腰の体勢で患者の身体を両手で抱えベット上方へ引き上げようとした際、腰部に強い痛みを感じた。以後痛みが強くなってきた。	39	50～ 99
9	14～ 15	精神科病院内の2階認知症治療病棟レク室ホールにおいて、精神科作業療法プログラム（集団回想法）を実施中、リクライニング式車椅子から転落しそうな参加患者を発見したため、駆け寄り、身を投げ出して支えた事で腰椎を受傷した。	37	100 ～ 299
9	20～ 21	精神科急性期高齢者病棟にて、夜勤勤務をしていた、男性患者様が廊下でドアたたきをはじめられた為、制止しようと声掛けしたところ突然胸ぐらをつかみ殴りかかって来られたので、患者様のおぶしを両手でつかみ落ちつかせようとしたが、抵抗激しく引き続きおぶしを離さず制止対応していると右手首に痛みを感じ、その後も痛みは続いた。	30	300 ～ 499
	16～	病棟詰め所の奥の処置室で、ソファに座って準夜帯の申し送りを聞いていた、		300

9	17	申し送り終了後、ソファから立ち上がった際、左ひざを少し捻ってしまった、その際、腰が少し「ゴキ」という音がし、違和感を覚えた。	67	～ 499
9	12～ 13	入浴更衣介助後、歩行器への移動の際に患者の足にひっかかりふらつきがあった、急に患者がふらついた為、患者の腰を両手で支えた際に、腰がぐきっとなり激痛が走った。	44	～ 300 499
10	4～5	8階病棟3号室にて患者（92歳44.2kg）をベッドから車椅子へ移乗介助の際、患者の腰辺りを抱えながら立ち上がったと同時に、背部に強い痛みを感じたためすぐに受診した。	56	～ 500 999
10	18～ 19	病棟詰所カウンターに患者が歩いてきたので、話を聞こうと近づいたところ、患者が後方へよろめき転倒しそうになり、両腕で支えたが、突然方向を変え支えて居る左手に勢いよく押しかかってきたため負傷した。	52	～ 300 499
10	17～ 18	病院発の送迎バスに乗車し、駅に到着した。降車の際、右足を地面に着地したところ、足関節に強い痛みでその場に2～3分立ち止まった。痛いながらもゆっくり歩けるので地下鉄で帰宅した。帰宅したところ右外果部の腫れが強く、冷湿布して休んだ。	64	～ 300 499
10	8～9	早番で患者様に朝食介助をし、終了したため、下膳しようと立ち上がったら腰が痛み出した。	42	～ 300 499
10	10～ 11	デイケアセンターの施設内の脱衣場所で、完全麻痺のある大柄な利用者の介助中に、車椅子に座っている利用者の服を脱がせるため中腰の姿勢で使用者の下肢を持ち上げたときに、バランスを崩してしまい自身の体勢が崩れたため腰に負荷がかかり、腰を負傷した。	39	～ 300 49
10	10～ 11	入浴介助中、患者さんに足湯を行おうと直径41センチ、深さ16センチの「たらい」に浴槽からお湯を汲み、患者さんの所まで運び、足元に「たらい」を下ろそうとした際に腰に激痛が走り、痛みのため動けなくなった。	43	～ 300 499
10	13～ 14	病棟ホールより車椅子の患者を病室ベッドへ移す際、激痛があった。その後痛みも軽かったので勤務したが、翌日になり激痛により動けない状態になった。	77	～ 300

				499
10	11～ 12	病室にて患者様の検温をするため体温計を挟む援助をしようとした際、患者様が突然暴れ出し右腰を蹴られ、勢いでそのまま転倒した。	56	100 ～ 299
10	12～ 13	広場にて開催された病院フットサル大会に参加した。試合中相手のシュートを止めようとした際に、相手のシュートの勢いに負けて、膝をひねってしまった。	26	500 ～ 999
10	15～ 16	病院中庭にて、レクリエーションの運動会のリレー競技に参加し、第1走者よりリレーバトンを受け取り、走る際にカーブで足をとられ、体勢を立て直そうと踏み込んだ際に、右足の甲に圧痛があり、歩行困難となり、続行不能となる。精査の結果、右足第1楔状骨骨折の診断を受ける。	37	100 ～ 299
10	10～ 11	空気清浄機がうしろにあり、業務スペースが狭かったため、1人で男性の患者様のオムツ交換を行って、枕の位置等ベッドで横になっている位置を正しくしてあげようと抱えた時に、予想以上に重くふらついてしまい、腰を痛めてしまった。	60	100 ～ 299
10	4～5	入院患者病室の患者ベッドサイドで、シーツ・布団・寝衣交換等、中腰姿勢で施行した後、点滴再挿入中に患者が嫌がる体動があったため、無理な姿勢となり腰部に負荷がかかった。	40	300 ～ 499
10	9～ 10	患者の処置（点滴や体位変換などを中腰で行っていた）に一人で病棟内をまわっていた際、腰から下が重く感じ、ビキッとした痛みが走った。その後、歩行困難なくらいの痛みが出現し、職場を早退した。腰の専門医が不在だったため、後日改めてMRIなどの検査を行うことになった。湿布、痛み止め（飲み薬と貼る用の薬両方）、胃薬、筋肉を和らげる薬が処方された。ゆっくりなら歩行可能な程度のため、翌日の勤務は休むことになった（自宅療養する）。	55	50～ 99
10	8～9	病棟、病室において患者様の体位変換作業中、患者様をベッドの上で抱えるようにして痛めた。	26	300 ～ 499
	10～	病室にて、全介助の患者の清潔ケアを行っている時、患者を持ち上げた際に腰		500

11	11	部、左足大腿のしびれが発生した。	23	～ 999
11	10～ 11	消化器外科急性期病棟にて勤務中、病室で臥床中の患者1名を頭側に水平移動していた最中に、腰痛を発症した。	26	～ 100 299
11	8～9	病棟病室にて患者の処置及びオムツ交換の為、職員2名で患者を抱えた際、腰の左側に痛み、しびれを覚え同日整形外科病院を受診する。	49	～ 100 299
11	14～ 15	病棟にて患者様を車椅子に移乗させる介助中に腰を捻じる。	39	～ 100 299
12	14～15	患者さんの身体がずり落ちているため、身体を持ち上げる動作を手伝って欲しいと他のスタッフより頼まれ、2人で患者さんの身体の下に手を入れ持ち上げようとした時に、中腰で頭部と上肢を支えようとし、ベッドの高さが低かった為、不安定な姿勢になり、持ち上げた時に腰部に激痛が発生した。	24	～ 100 299
12	13～14	車椅子トイレから歩行にて帰室する患者の左側からズボンに手を添え、付き添っていたところ、患者の左足が脱力し、倒れそうになった。転倒を防ぐため、必死に踏ん張ったが、支えきれず、患者の体が自身に覆いかぶさるように転倒し、右足を捻ったまま倒れてしまった。	39	～ 1000 9999
12	14～15	透析中に急激に血圧低下し、ショック状態となった患者にモニターを設置・装着した際、同患者が吐き気をもよおし、誤嚥防止のため患者の体の向きを変えようとした時に左足～背にかけて痛みがはしった。当日、当院救急外来を受診し、左横足根靭帯損傷と診断された。数日経過しても痛みが治まらなかった為、別の病院を受診したところ、左第3趾中足骨骨折、腰椎椎間板症との診断で1カ月の休業となった。	58	～ 1000 9999
12	17～18	当院内においてデイケア業務終了後、片付け等の残務をおこなっていた。カウンター内の棚に利用者用の名札を整理しておくため布が掛けられている。この布の下方に名札を片付けるためにしゃがみ立ち上がる際に負傷した。	47	～ 100 299

12	10~11	風呂場で、介護職員と2人で患者をベッドから入浴用のストレッチャーに移動させるため、腰を曲げたまま抱きかかえたり、リフト浴に患者を入れた際に患者が沈まないよう、リフトの横から腰を曲げたまま患者を支えたりしていた。その行動を繰り返し行っているうちに腰が痛み出し、腰を伸ばすと激痛がはしり、歩行困難となった。	57	300 ~ 499
12	16~17	ごみを乗せた大小2台の台車を片手ずつ前後で持って移動していたところ、段差で前の台車が傾いたのを止めようとして、右手で保持した。その後、背中と右上肢の痛みが出現し、湿布を貼ったが痛みが持続した。	64	300 ~ 499
12	11~12	院内2病棟病室にて、被災者とは他1名の2人1組でベッドのシーツ交換を実施した。ベッドとマットレスの間にシーツを挟み込むため中腰（前傾姿勢）で交換作業を行い、完了したため次のベッドのシーツ交換に移動しようと、中腰の体勢から体を起こそうとした際、右股関節に痛みがはしった。その後、全く動けなくなった。	65	500 ~ 999
12	11~12	病室にて、患者のベッドサイドでルートの差し替えを行おうと中腰になったとき、左膝に激痛がはしり、その場から動けなくなった。	37	100 ~ 299
12	11~12	HB室にて、脳外ルーチン検査に就いていた。6名で女性患者を隣のベッドへ移乗させていた際、患者の胴体部分を両手で持ち、真っ直ぐな姿勢から前のめりになりながら奥のベッドへ移乗させたとき、無理な姿勢をとったため、腰に痛みが発生した。	26	1000 ~ 9999
12	16~17	病院本館1階のラーニングセンターにおいて、心肺蘇生研修を受けていた。椅子に意識不明の人が座っており、下に降ろすという設定で実技を開始した。2人1組になり、背後より上肢を持ち、もう1人は下肢を持って持ち上げようとした瞬間、腰の骨がボキッと鳴り、痛みがはしって立っていられなくなり、そのまま入院となった。	63	1000 ~ 9999
12	4~5	病院A棟5階東病棟の病室にて、患者のオムツ交換・吸引をしている際に腰痛があり、身動きがとれなくなり、病院受診の結果、腰椎ヘルニアとの診断を受けた。	28	500 ~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html